

「水源の森」ジオラマづくり

田中宏明自然再生指導官 考案



今年度、新たな取組として『「水源の森」ジオラマづくり』を開発しました。実際のイベントを通じて、改善を繰り返して、以下のとおりまとめました。まだ改善の余地もあり更に改善をしていきます。これを参考にされる方も、地域によって材料にする植物など様々ですので、工夫してみてください。

このジオラマづくりは、子どものみならず大人でも楽しめるかと好評です。木工クラフトなど作って楽しかったで終わるケースが多く見られますが、このジオラマづくりは、ただ作るだけでなく学びのきっかけとなることができます。

工作を始める前に、「水源かん養保安林」「水源の森」「水循環」などについて子どもたちに森が水を守っていることを理解してもらい、森林をイメージしながら作らせることに重点を置いて実施します。森林環境教育に役立てていただけます。

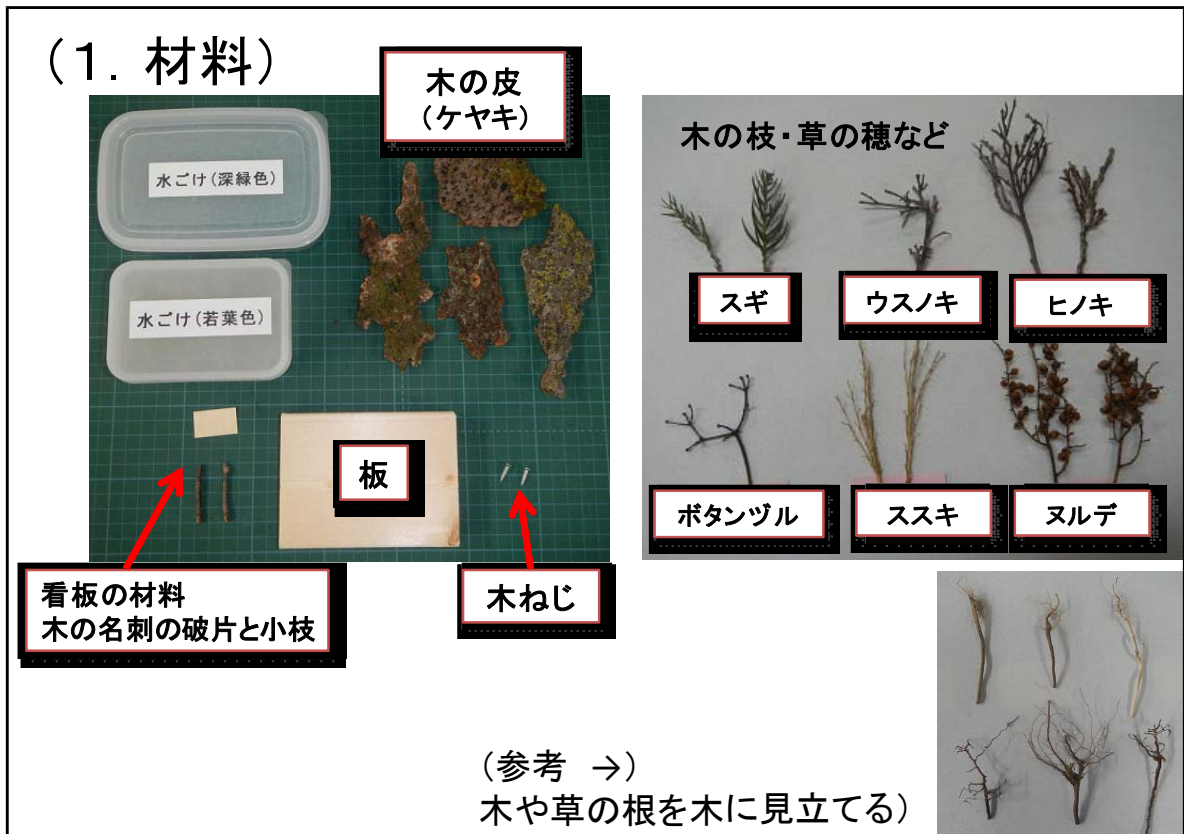
材料の調達及び必要な道具類

1 材料の調達

(1) ケヤキの皮 (地面用)

公園や街路樹 (河川敷にもあるかもしれませんが) として大きくなったものは、皮が徐々に剥がれ落ちます。大きな木ではコケの生えているものもあり、陸地に見立てるのにちょうど良いものがあります。地面に落ちた皮を集めます。(※公共のものであっても土地や樹木には管理者がいます。皮を剥がすことは止めましょう。) — (簡易な代用品) 紙粘土

(1. 材料)



木の皮 (ケヤキ)

水ごけ (深緑色)

水ごけ (若葉色)

板

木の枝・草の穂など

スギ

ウスノキ

ヒノキ

ポタンヅル

ススキ

ヌルデ

看板の材料
木の名刺の破片と小枝

木ねじ

(参考 →)
木や草の根を木に見立てる)

(2) 根っこ・枝先など（樹木用）

根っこは、アレチノギク（高さ10cm～30cm）などが適当な根張りがあり最適です。

枝先などとして使える樹木は、ヒノキ、スギ、ウスノキ、実生部分が使えなのがヌルデ（実が付いた状態だとリンゴの木のように使えます）などがあります。草では、ススキの穂、ポタンヅルの花穂、イタドリの花穂などあります。――（簡易な材料）スギの葉やススキの穂

(3) 水苔（樹木の葉っぱ用）

市販の水苔を、水彩絵の具（緑色、秋の風景には黄緑や黄色、赤色）で着色して乾燥させ、乾燥後に手でもんで粉々（多少荒い部分も残す）にして容器に入れておく。――（簡易な代用品）吸水性スポンジ（花を固定する緑色のスポンジです。乾いたものをこすると粉になります）

(4) 板（土台用）

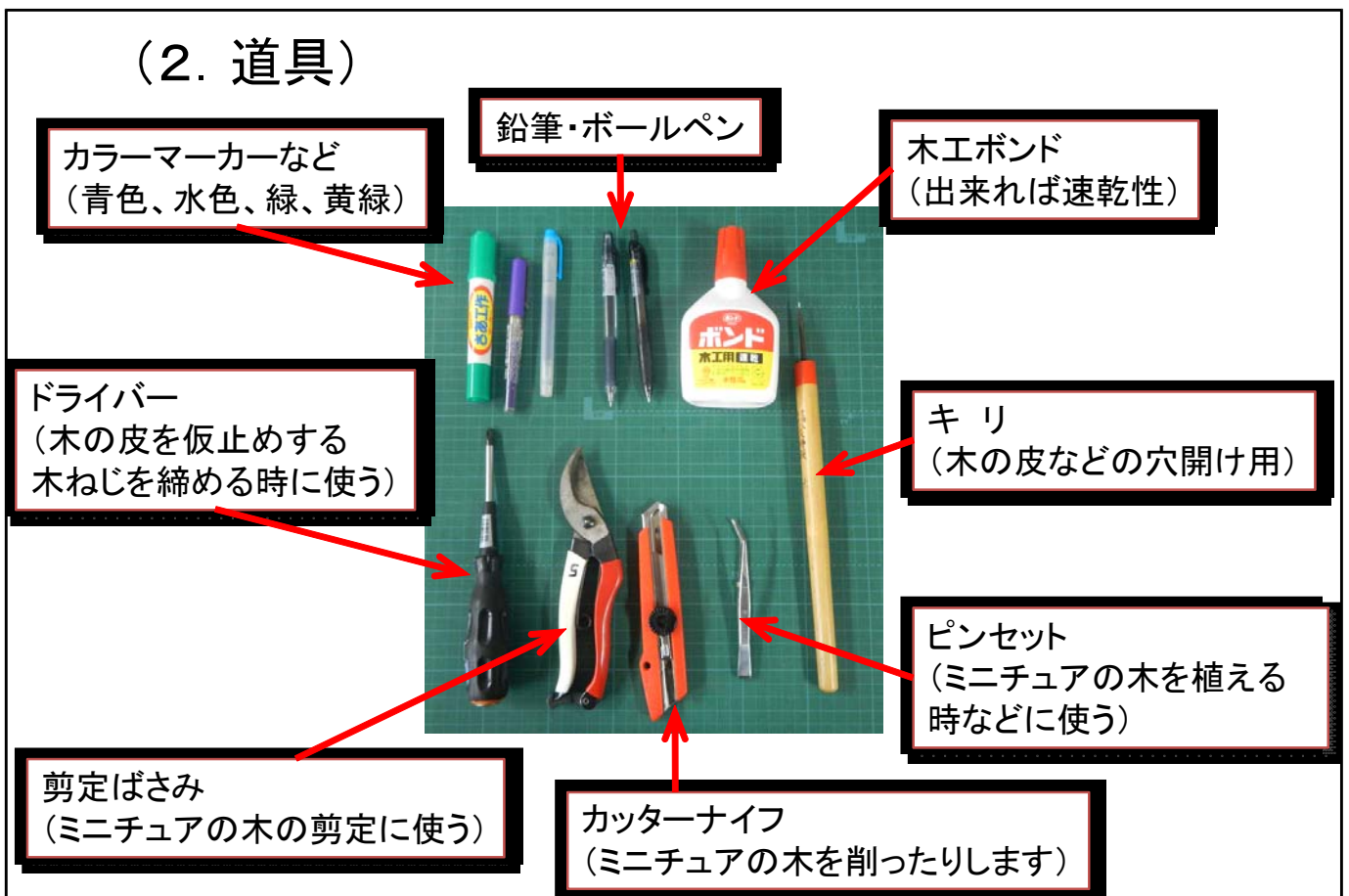
木工品を作っているお店から余った切れ端を無料で分けてくれることがあります。大きさは、縦7～10cm、横12～16cm程度が適当です。木の輪切りを使う方法もあります。――（簡易な代用品）かまぼこ板

(5) 看板

木製の名刺があれば最良です。――（簡易な材料）薄板（クラフトショップやホームセンターにあります）厚紙（菓子箱など）

2 必要な道具類

キリ、ピンセット、カッターナイフ、剪定ばさみ、ドライバー、カラーマーカー、鉛筆、ボールペン（下の写真のとおり）



3 作成方法

(1) ミニ樹木の作成

木の枝先などに木工ボンドを塗り、水苔(着色したもの)の中にまぶす。

(アドバイス) ボンドに完全に付いていない粉が多いと、後でポロポロ落ちるので、余分な粉は払っておくと良いでしょう。



(2) 林地の作成

ア、板とケヤキの皮を選ぶ

木の板に合ったケヤキの皮を選び、組み合わせを考えます。まとまったら、鉛筆で川や池の縁取りをする。ケヤキの皮を一時取り除いてから、さらに1cm余分に縁を書きます。大きな縁取りの中を色鉛筆やマジックなどで色を付けます。

(アドバイス) 水は浅いところは薄い色で、淵など深いところは濃いめに塗ると雰囲気が出ます。



イ、余分なところの処理

板からはみ出たところは邪魔なら切り落とします。

ウ、固定用の穴を作ります。ケヤキの皮に穴を開けて、板にも配置を考えて穴を開けます。



ウ、皮の固定

ケヤキの皮の裏に木工ボンドを付けて、開けた穴に爪楊枝か木ねじで固定します。爪楊枝は余分なところを切り落とします。



(3) 木を植える

ア、植える穴掘りと樹木の配置を考える

地面に先ほど作った木を植えますが、配置で個性が出るのでどこにどんな木を植えるのか考えます。植える場所が決まったら、キリで穴を開けます。

(アドバイス) いきなり木工ボンドで植えていくと直しにくいので木工ボンドを付けずに仮植えして植え方を再度考えると良いです。



イ、オプション (滝を作る場合)

白いビニールひもなどを使い滝の形を作り貼り付けます。

ウ、水の部分をリアルに仕上げる

川や泉、池、湖、滝など水の部分に木工ボンドを塗ります。下が透けて見えない程度に厚めに、均等に塗ります。

(アドバイス) ケヤキの皮の下にもしっかりと塗り込むと、より実感が出ます。



エ、樹木を植える

最初に作成して置いた樹木の根元に木工ボンドを付けて開けた穴に固定します。

(アドバイス) 樹木に付けたはずの水苔がぼろぼろ落ちて、川の中に落ちると見栄えが悪くなるので慎重に取り付けます。落ちた場合は、爪楊枝かピンセットで取り除きましょう。



(4) 看板を付ける

ア、作品のネーミングを考える

「水源の森〇〇の泉」など思い思いのネーミングをし、看板用の板に書き込みます。

イ、看板の柱用に枝を立てて、木工ボンドで固定します。



ほぼ完成の状態

これで、ほぼ完成。「ほぼ完成」ってなぜ？

それは、出来たては水の部分はまだ真っ白だからです。1～2日もすれば乾いて、透明になり最初に塗った水の色が浮かび上がってきて、その時が完成です。持ち帰って完成するまで楽しみがあります。



完成 (1～2日経過後)



滝の完成状況